

9880

一三二
空襲不致斗
詳報

昭和二十
五年五月
十五日

9880

(6)

一月二十二日空襲戰鬥詳報

昭和二十年一月
獨立混成第十五聯隊

23708

89

一月二十二日空襲

獨立混成第十五聯隊(欠II)戦闘詳報

島ニ九〇ハノ 報

一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

本年當初ヨリ南西諸島ニ對スル敵機ノ行動ハ相當活潑ニシテ
 敵ノ侵攻企圖豫斷ヲ許サザルモノアリ (情報島別紙ノ如シ)
 聯隊ハ主力ヲ以テ十二月八日新移駐地ニ轉進敵ノ熾盛ナル
 砲爆撃並ニ絶對優勢ナル對戰車對空挺戰斗ニ必勝ヲ期
 スルノ陣地諸施設ノ完成ニ邁進中ニシテ概ホ所望ノ域ニ達シテ
 尚一部旧守備地タル本部町ニ一部ノ兵力ヲ殘置シ戰斗資材ノ
 前送ニ任シテアリ

本二十日〇六三五沖繩全地區空襲警報發令セラレ、マ、聯隊ハ直
 チニ乙號戰備ニ移行シ對空戰備ヲ完整スルト共ニ常時情勢
 即應ノ態勢ニテ陣地構築ヲ續行セリ
 敵機ハ主トシテグラマン艦載機ニシテ四機ヲ單位トシ二―三群ヲ

以テ來襲レロ六五〇一八三〇一巨ノ間絶ニ我上空ニ在リテ執拗ニ銃爆ヲ實施セリ

ニ戦斗ニ影響ヲ及ボシタル天候氣象ニ住民ノ狀況ニ天候ノ氣象

海抜平穩ニシテ和風、相當濃度ノ断雲低ク垂レ、敵機動部隊ノ來襲、此ニ敵機ノ地上攻撃ニハ絶好ノ機ヲ與ヘシノミテ、我對空兵器ノ威力ヲ減殺セシ事甚大ナリ

ニ住民ノ狀況

住民ノ時局ニ對スレ認識極メテ低調ニシテ一部極度ニ敵ノ上陸ヲ危懼シテ、空襲警報發令サルニモ老若悉ク附近山林及墓地等ニ退避シ解除セラレ、モ容易ニ就業セズ、愛護心ニシテ民防空ノ觀念ハ全然之ヲ認め得ズ、此種訓練ニハ相當ノ努力ヲ要ス

ニ彼我ノ兵力、敵戦法、敵ノ瓦斯使用ノ種類

敵機ハガラマン艦載機ニシテ延四〇〇機ニ及ブモ其ノ實數ハ七〇乃至八〇機ヲ出デサルモノト判断ス

我ガ展開兵力

聯隊本部、第一、第三大隊主力ニシテ直接敵機ト交戦セルハ

第三大隊機關銃中隊、第一小隊、第二分隊、及

第九中隊、第一小隊、第二分隊ノミナリ

一部本部町ニ設置セル兵力(将校以下五五名)ハ一時旅團

松井中尉ノ指揮下ニ戦斗セリ

敵戦法

敵機ハ四機ヲ單位トシニ二三群ヲ以テ來襲シ我對空兵器ナク上空ヨリ雲上ヲ飛翔シ雲間ヨリ突如降下シ飛行場ヲ

急降數波トナリ爆撃手ス

ニ急降下爆撃手ハ六十度以上ノ角度ヲ以テ機銃掃射ヲ加ヘツ、

實施シ一機四彈ヲ投下シ我が對空射撃ノ猛射ヲ蒙ルモ
敢テ意ニ介セザルモノ、如ク鬪志ハ熾盛且大膽ニ行動セリ
急降下爆撃手間ハ一機ハ其ノ上空ヲ旋回シ我が對空火器ヲ
偵察或ハ寫眞具撮影ニ任ジ爆撃手效果ヲ確認シアラセント判断
セラル

敵機ノ來襲ハ反復執拗ニテ海岸線飛行場附近ノ要点
ヲ銃撃シ將來ノ上陸ハ爲周到ニ偵察セルモノト判断ヲ
敵使用彈種ハ瓦斯使用ノ有無
五〇—一〇〇キロ程度ノモノナルモ水釜附近ニ五〇キロ程度ノ彈痕
二個ヲ發見ス

旅團情報班ニ第三大隊ノ報告ヲ綜合スレ一部黃燐燒夷彈
ヲ使用セルモノ、如シ
四各時期於テ戰鬥經過及通信連絡ノ状態
敵機ハ概テ四機ヲ單位トシ八機乃至一二機編隊ヲ以テ

〇六五〇—一五〇〇迄七波ノ攻撃ヲ反復執拗ニ實施セル外
一五〇〇以降一八三〇ニ至ル間ハ斷續的ニ一機我ガ上空ニテ
各期ヲ通ジ敵機ノ行動ハ飛行場ヲ爆撃スル外海岸線特
ニ座喜味、西方海岸、砂辺、津堅島、飽瀨等ヲ執拗ニ銃撃
スルヨリ判断シ敵ノ上陸前、上陸準備ノタメ、我が情況ヲ偵察
ナシアルモノト判断セラレ、各隊ハ極力陣地ノ秘匿ニ努メ對空射
撃部隊ノ如キモ必墜ヲ期スル至近距離ノ射撃ヲミテ實施シ
兩餘ノ射撃ハ絕對ニ之ヲ禁ジタリ 爲ニ相當ノ破彈ヲ用モ
我方何等ノ損害ヲ敵機一機ヲ撃墜スルニ至レリ

(情況別紙要圖ノ如シ)

通信連絡

ノ有線

空襲直後ヨリ約二時間旅團トノ連絡阻絶以外一部通信線
ヲ利用セル第二大隊トノ連絡意ノ如クナラス 在本部隊直屬隊

トノ連絡ハ一ハロニ至ルモ遂ニ通話レ得ズ
2. 無線

無線ハ交信回数極メテ僅小ニシテ當日速急ノ使用ニ堪テ
指揮連絡上、多大ノ支障ヲ生ゼリ

五將來ノ參考事項

- 1. 陣地施設等ニシテ偽裝十分ナラザル箇所ニ對シテハ爆撃ヲス
故ニ陣地又ハ施設ハ工事中心ト雖モ十分ナル偽裝ヲナスノ要アリ
- 2. 敵機ノ在空間自動車ノ通過スルモ傳令ニシテ地形ノ利用對
スル著意ナキモノ本部指揮所等ニ不用意ニ蟬集又ハ出入スル
モノ等對空遮蔽ニ就テハ改善ノ要大ナリ
- 3. 横穴式洞窟、銃撃ヲ受ケテ地方人ニシテ一時ニ十數人死傷者
ヲ出セル例アリ
- 4. 横穴ハ爆風除ケテ施設ニ或ハ開口部方面ヲ飛行 方向ニ對
シ遮蔽ニ或ハ地形ニヨリテハ堀下ゲタル後横穴トスル如キ著意

不要トス

4. 空襲時搭載ニ任ジアル者急ニ海中ニ跳込ミタル際陸地へ着
カントシテ体力ヲ消耗シ海没セルモノ多數ヲ出セルハ沈著冷
靜海上ニ浮上シテ救護ヲ待ツノ著意ヲ指通スルノ要アリ

戦闘前ニ於テ情報寫

一月一日〇九三〇受領

〇九一三沖繩本島全地區空襲警報發 B29一機中飛行場上空存

一月三日〇九一五 受領

〇九一五 B29一機屋宜上空ニ在リ 絲滿上空敵機編隊來襲セリ

一月七日一〇〇〇

B29二機〇八四〇中飛行場ヨリ侵入シ沖繩本島南半部ヲ偵察セリ

一月七日一三〇三 受領

一一五〇小録基点一五〇度七〇新不明機三機 迎接中

一月九日〇八五五 受領

〇八五五 警報發令 沖繩本島全地區敵編隊迎接ノ微リ

一月十一日一三〇〇 受領

一一五〇 B29一機絲滿上空旋回中

一月十六日一〇〇〇 受領

〇九四五 B29 一機東南ヨリ侵入〇九五〇雲上ヲ東南進中高度六〇〇〇
一月十七日一六三五 受領

敵機動部隊三群ハ補助艦ヲ増強シテ南支那海及
台湾東方海面ニ遊弋シテ間接的ニ呂宋方面ノ作戦ヲ支
援セシメ爲左支米空軍ニ呼應シ南西諸島台湾支那海岸
ニ對シ我々増援遠所ノ攻取手ヲ再行スニ算大
マリイテ群島方面ノ別動部隊ハ南西諸島マニラ方面ニ増援ス
ルノ微ヲ

一月二十日一三〇〇 受領

一二三六敵大型機一機石垣島西南方ヨリ侵入西元方ニ去ル

高度 三〇〇

一月二十日一五一〇 受領

一二二四 B24 一機ニ七〇度ヨリ侵入平良港上空ヲ返國ニニ〇度

脱去セリ 高度一五〇〇

一月二十日一四〇〇 受領

戦闘中得タル情報及命令

一月二十日一五一五 受領

〇九〇〇敵機ハ讀谷山飛行場北側ニ確決性ガス彈ヲシキモノ

一個投彈セリ 煙ノ色ハ黄

一月二十日一三三〇 受領

第三大隊報告

敵機ハ△〇ニ高地北方〇〇米松林内部落ニ個投彈現在四戸

燃焼中 爆發當時煙ノ色黄色ナルニヨリ直チニ現場ニテ

調査セシモガス彈ト判定スベキモノヲ認メズ

黃燐燒夷彈ト判断ス

一月二十日一七三七 受領

旅團命令

一各地區隊本夜海上監視ヲ嚴ニス

一本日ノ戦半狀況ヲ司令部ニ報告ス

三 明日敵機攻撃ヲ予想シ對空處置ヲ遺憾ナラシム
四 一日二十百一七三五 發令

南地區隊命令

戦斗指揮所

一 今朝來執拗ニ攻撃セシ敵機ハ猶近海ニ在リ、如ク 情勢ノ推

移ハ予斷ヲ許サズ

二 地區隊ハ本夜對空對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、夜ヲ徹シ

明二十三自天明以済ノ戦斗ヲ準備セントス

三 各隊ハ本夜對空特ニ對海上警戒ヲ至嚴ナラシメ、情勢ニ即應ス

ル態勢ヲ以テ明二十三自黎明以降ノ戦斗ヲ準備ス

四 第一大隊ハ嘉嘉手納、水釜附近ノ對海上警戒ヲ至嚴ナラシム

五 第三大隊ハ砂辺附近ノ對海上監視哨ヲ強化スト共ニ部ヲ桑江

附近ニ派遣シ比谷村沿岸ノ對海上警戒ヲ嚴ナラシム

六 兩大隊ノ海上監視哨ノ所在地方監視哨ト密接ニ連絡ス

七 工兵隊長ハ本朝戦斗指揮所高地ノ兵力ヲ増強シ本夜對空對海上

警戒ヲ至嚴ナラシム

八 各隊ハ明二十三自黎明以後ノ對空處置ニ遺憾ナラシム

九 予ハ戦斗指揮所ニ在リ

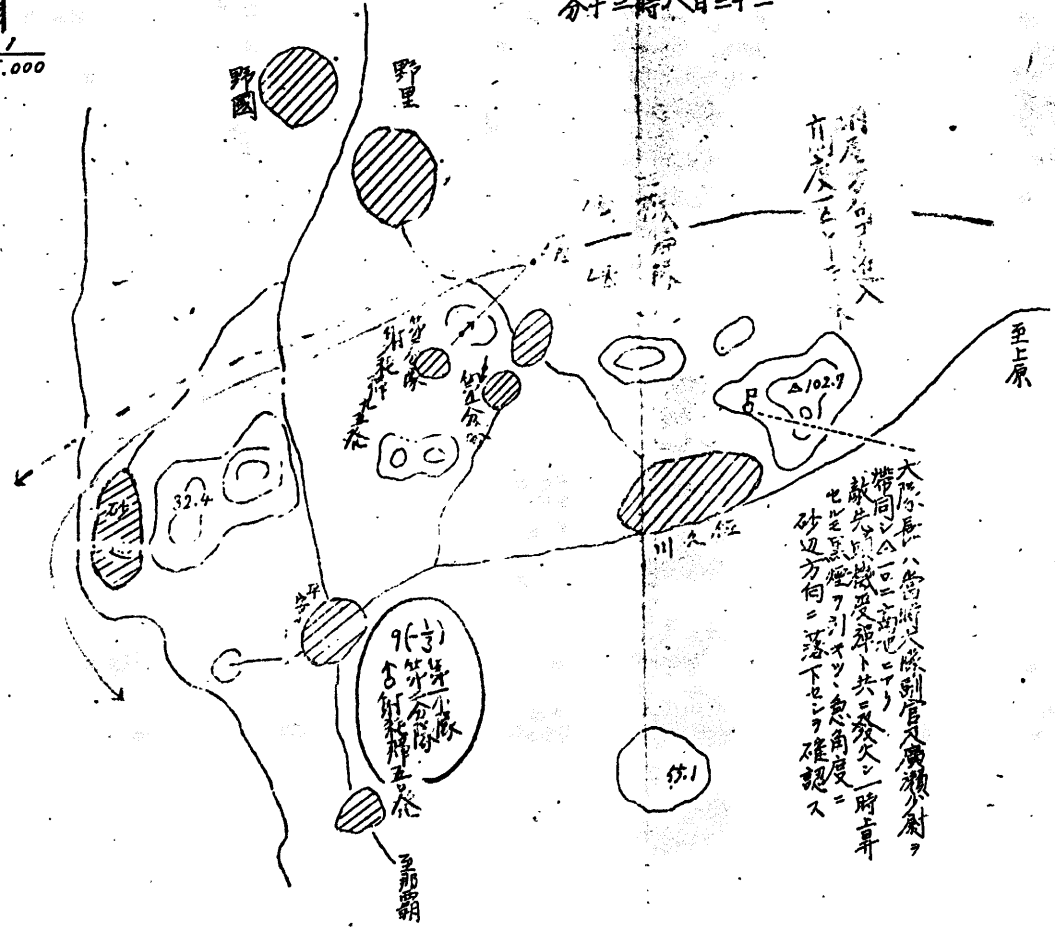
南地區隊長 美田大佐

0843



敵機撃墜状況要圖

二十二年八月二十一日



敵機撃墜
川

至上原

大隊隊長八宮將大佐隊員廣瀬少尉
 帶同シロコヘン等ニテ
 敵機撃墜及射撃共ニ發火一時上原
 七七五機ヲ引キテ急角度ニ
 砂辺方向ニ落下セテ確認ス

撃墜部隊
 第三機関銃中隊
 第一小隊第二分隊

小隊長 渋谷中尉
 分隊長 大宮軍曹
 射手 佐藤一等兵

製表上ノ注意

- 一 此表ハ軍隊區分ニ基ク各部隊毎ニ區分シ且中隊ヲ示スヘシ但シ大隊以下ノモノニ在リテハ尙區分ヲ詳細ナラシムヘシ
 - 二 損失武器中破損ト戰場ニ遺棄シタルモノトヲ備考中ニ區分スヘシ
 - 三 此表ハ一部ノ戰調局ヲ結フ毎ニ調製シ更ニ會戰全部ノモノヲ一表ニ調製スルモノトス
- (大誤・宜考)

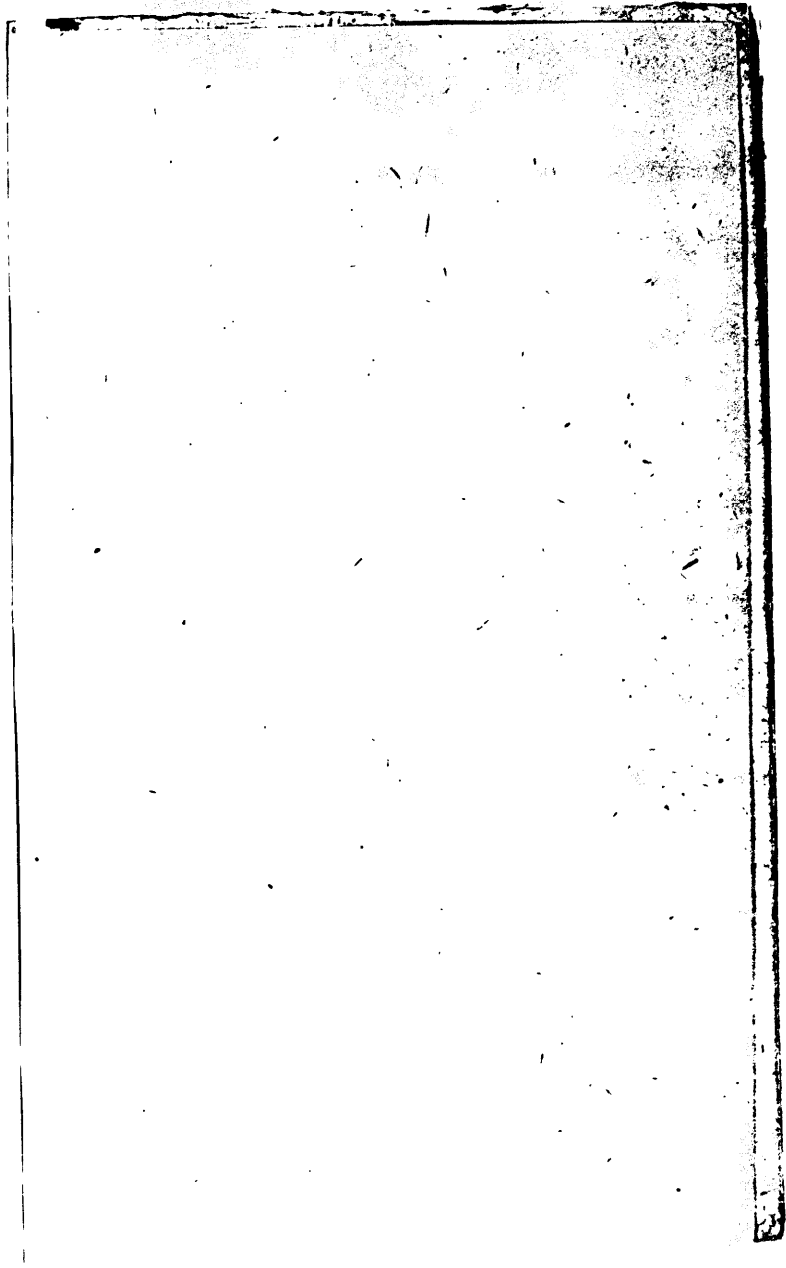
備考	計	隊		種別		損		費		其ノ他ノ武器	
		號	分	彈	榴	車	砲	彈	榴	車	砲
		第三大隊機銃		彈	榴	車	砲	彈	榴	車	砲
		第二大隊機銃		彈	榴	車	砲	彈	榴	車	砲
		第一大隊機銃		彈	榴	車	砲	彈	榴	車	砲
	50			彈	榴	車	砲	彈	榴	車	砲
	50			彈	榴	車	砲	彈	榴	車	砲
	95			彈	榴	車	砲	彈	榴	車	砲

戰闘詳報第

號符表 獨立混成第一旅隊

昭和二十一年
月二十一日

武器彈藥損耗表(乙)



87

